

2000年(平成12年)

- [2000/00/It] 逸村裕「ネットワーク情報資源とメタデータ：CORC にみる図書館サービスへの応用」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 39, 2000, p35-40.
- [2000/00/Na] 長嶺悦子「[2000年度]事例発表1: 国立国会図書館総合目録ネットワークの事業展開(広がるネットワークと図書館資料の整備: 検索システムと資料目録(整理部門研究集会))」,『全国公共図書館研究集会報告書』, 2000年度, 2000, p11-13.
- [2000/00/No] 野村茂夫「漢籍の目録について: 漢字・書籍・目録」,『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 39, 2000, p1-7.
- [2000/00/Su] 菅野育子「IFLA/FRBRとISWC, ISTCのwork概念の比較」,『Library and information science』, 通号44, 2000, p27-41.
- [2000/00/Su] 杉本節子, 加戸文子, 早川尚美[ほか]「入門講座 相互貸借(ILL=Inter-library loan)の基礎」,『看護と情報: 看護図書館協議会誌』, 7, 2000, p103-110.
- [2000/00/Ts] 土本潤「分散型総合目録の構築と進化の可能性について: 岐阜県内図書館(5館)HP横断蔵書検索システム(実験版)(2000 21世紀への飛翔)」,『INFOSTA シンポジウム予稿集』(情報科学技術協会), 2000年, 2000, p66-70.
- [2000/00/Ya] 山下邦靖「階層を持つ書誌データベースの構築における問題点: 特に単行書・逐次刊行物の二重性格をもつ資料への対応(2000 21世紀への飛翔)」,『INFOSTA シンポジウム予稿集』(情報科学技術協会), 2000年, 2000, p51-53
- [2000/02/Go] 郷端清人「図書館システムとセキュリティ(情報サービスとセキュリティ)」,『情報の科学と技術』, 50(2), 2000.02, p80-87.
- [2000/02/Ka] 金子康樹「利用者公開PCのセキュリティについて(情報サービスとセキュリティ)」,『情報の科学と技術』, 50(2), 2000.02, p73-79.
- [2000/03/Da] 大学図書館研究集会運営委員会編『学術情報提供と次世代図書館サービス: 大学図書館の対応: 大学図書館研究集会記録; 第17回』, 日本図書館協会大学図書館部会, 2000.03, 150p. * 国公立大学図書館協力委員会との共同刊行。発売: 学術文献普及会。大阪市立大学, 平成11年9月9日~10日。「全体会・分科会報告(p119-132)」(北克一, 永田治樹, 上田修一ほか)
- [2000/03/Fu] 藤巻俊樹「WINEシステム・デモ(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」,『早稲田大学図書館紀要』, 通号47, 2000.03, p19-22.
- [2000/03/Fu] 深澤良彰「基調報告・早稲田大学新図書館システム WINE99 が目指すもの(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」,『早稲田大学図書館紀要』, 通号47, 2000.03, p5-19.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター研修課「平成11年度総合目録データベース実務研修終了報告」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p50.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録 CD-ROM 版 1988 の刊行」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p32.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システムの運用開始」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p29.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの参加機関700機関を突破」,『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p28.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「目録所在情報サービスの歩み(特集: 学術情報センターの目録所在情報サービス)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p5-12.
* 目録所在情報システム15年間の歩み(年表)
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「学術雑誌総合目録のあゆみ(特集: 学術情報センターの目録所在情報サービス)」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p13-15.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システム移行後における検索・登録時の注意事項」,『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p16-19.

- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「多言語対応目録システム運用開始に伴う外字データの整備」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p20.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「連載:総合目録データベースデータベース品質管理事例集; (その5):図書所蔵編」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p23-28.
- [2000/03/Ga] 学術情報センター目録情報課「[平成12年度]会議開催報告」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03.17, p32.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「目録所在情報サービス今後の展開(特集:学術情報センターの目録所在情報サービス)」, 『オンライン・システムニュースレター』, No.70 最終号, 2000.03, p2-4.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「書誌ユーティリティの接続(第1部:日本情報の国際共有)」, 『日本情報の国際共有に関する研究;平成11年度報告』, (研究代表者:内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Mi] 宮澤彰「NACSIS-CATにおける韓国語対応(第1部:日本情報の国際共有)」, 『日本情報の国際共有に関する研究;平成11年度報告』, (研究代表者:内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Mo] 森川博之「奈良県立図書館の学術情報センターシステムの利用:所蔵資料の遡及入力を中心に(参加館紹介)」, 『学術情報センターニュース』, No.50, 2000.03, p35.
- [2000/03/Na] 中野和廣「東京電機大学理工学部における文献複写業務の機械化について(第2章 文献複写システムと ILL)」, 『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 8, 2000.03, p55-94(第2章全体).
- [2000/03/Ni] 西村昭子, 水谷長志(東京国立近代美術館)「展覧会カタログの書誌情報:その生成と流通に関する一試論」, 『アート・ドキュメンテーション研究フォーラム報告書』, Vol.2nd, 2000.03, p28-36.
- [2000/03/No] 野原千鶴(済生会下関総合病院)「NACSISに参加する病院図書室:今とこれから(小特集:ネットワークの中の病院図書室:より広く,より近く,より深く)」, 『ほすびたるらいぶらりあん』, 25(1), 2000.03, p21-27.
- [2000/03/On] 小貫有紀子「工学系大学図書館における相互協力のあり方:学術情報センターに参加していない ILL の事例報告(第2章 文献複写システムと ILL)」, 『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 8, 2000.03, p55-94(第2章全体).
- [2000/03/Sa] 佐久間広徳「MARCと図書館システム」, 『図書館の学校』, 3, 2001.03, p28-29.
- [2000/03/Sa] 佐藤美子「目録をとるとのこと:記録をする意味(<目録を考える>)」, 『図書の譜』(明治大学図書館), 4号, 2000.03. *「文字」とNC総合目録データベース.
- [2000/03/Si] Silberstein, Steve「次世代図書館システムにむけて(早稲田大学新学術情報システム記念式典記録)」, 『早稲田大学図書館紀要』, 通号47, 2000.03, p22-39.
- [2000/03/To] 図書館システム・ネットワーク専門委員会編『インターネットに公開された OPAC 調査:図書館システム・ネットワーク専門委員会報告書;平成11年度』, 浦和:埼玉県公共図書館協議会, 2000.03, 44p.
- [2000/03/Wi] ミョン・チャン・ウィルソン(Myoung C. Wilson); 野末俊比古「全国的・国際的研究コミュニティの研究:21世紀の学術情報センター(報告)」, 『日本情報の国際共有に関する研究;平成11年度報告』, (研究代表者:内藤衛亮), 2000.03.
- [2000/03/Ya] 山内隆文(名古屋学院大学附属図書館)「ポーランドから発信する日本情報:ポーランド日本情報工科大学における講演より」, 『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会 ISSN:03873919), Vol.38, 2000.03, p9-15.
- [2000/03/Yo] 吉田千草(明治大学図書館整理課)「総合目録データベースの品質管理についての考察:OCLCとの比較を通して(<目録を考える>)」, 『図書の譜』(明治大学図書館), 通号4, 2000.03, p170-186
- [2000/04/Ma] 松林正巳「ネットワーク時代の目録規則: AACR2の改訂動向について(特集:ネットワーク時代の目録)」, 『大学の図書館』, 19(4)(通号317), 2000.04, p54-57
- [2000/04/Mo] 森山光良「公共図書館の都道府県域総合目録ネットワークの現段階:独特の発展形態と課題」, 『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 94(4), 2000.04, p260-263.

- [2000/04/To] 徳永智子「和装古書目録データ入力この一年(特集:ネットワーク時代の目録)」,『大学の図書館』, 19(4) (通号 317), 2000.04, p59-61.
- [2000/06/Ka] 河原田伊左男「総合目録データベース実務研修受講報告」,『関西大学図書館フォーラム』 (ISSN:13420828), 5, 2000.06, p63-65.
- [2000/06/Ko] 国立大学図書館協議会国際情報アクセス特別委員会『海外機関との相互利用(文献複写)に関する調査報告』, 2000.06, 27p.
- [2000/06/Ta] 竹村心(京都大学教育学部)「わが国の図書館政策; : 学術政策と大学図書館: 解説 .80-90年代の学術と大学図書館の政策」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol. 38, No. 2, 2000.06, p79-82.
- [2000/07/As] 浅野泉「Webcat での大学図書館公開の可能性への提案」,『北の文庫』, no.29, 2000.07, p6-10.
- [2000/07/Wa] 中山伸一「感情による図書の検索システム(特集:情報検索)」,『人文学と情報処理』, (28), 2000.07, p73-82.
- [2000/07/Wa] 和中幹雄「児童書の収集と発掘: 国際子ども図書館児童書総合目録の概要(特集:情報検索)」,『人文学と情報処理』, (28), 2000.07, p62-72.
- [2000/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「国立情報学研究所の設置」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 1号, 2000.08.10.
- [2000/08/Mo] 渡部聡彦(東京大学情報基盤センター)「ここがすごいぞ! 電子図書館」,『電気学会誌』, Vol. 120, No. 8/9, 2000.08, p526-529. * 総合目録情報データベース, ILL, オンラインジャーナル
- [2000/09/As] 浅倉秀三「文字列検索による J-BISC 検索」,『情報管理』(ISSN00217298), Vol. 43, No. 6, 2000.09, p481-490.
- [2000/09/Ma] 松井幸子(図書館情報大学), 今野裕美(サンネット)「わが国の公共図書館における WWW 版 OPAC の現状: 46 館の OPAC システムの現状調査と 3 種の OPAC システムの利用調査」,『日本図書館情報学会誌』, 46(2), 2000.09, p49-72.
- [2000/09/Mi] 南俊朗, 栗田英和, 有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム: 遡及入力問題の一解決法」,『情報処理学会研究報告』(ISSN09196072), Vol. 2000 No.91(FI-60), 2000.09, p63-71.
- [2000/09/Mi] 南俊朗, 栗田英和, 有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム: 遡及入力問題の一解決法」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p27-35.
- [2000/09/Na] 永森光晴, 阪口哲男, 杉本重雄, 田畑孝一(図書館情報大学)「RDF Schema に基づくメタデータレジストリ」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p49-56.
- [2000/09/Sa] 酒井香里, 松田明子, 小宮山淑子(東京都立航空工業高等専門学校学生係)「<研究ノート> 学術情報センターのデータを利用した雑誌目録の作成」,『研究紀要』(東京都立航空工業高等専門学校 ISSN:03871355) Vol. 37, 2000.09, p137-139
- [2000/09/Su] 杉本重雄(図書館情報大学)「Dublin Core について: 最近の動向, 特に qualifier について」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No. 18, 2000.09, p36-48.
- [2000/09/Ya] 山口直比古「NACSIS-ILL とユーザー会(特集: 文献入手の可能性を拡げるために)」,『医学図書館』, 47(3), 2000.09, p262-265. * ILL 料金相殺のためのユーザー会設立の試み
- [2000/10/Ha] 原田隆史「図書館コンソーシアムとドキュメント・デリバリー」,『同志社大学図書館学年報』別冊, 同志社図書館情報学』, 12, 2000.10, p1-18.
- [2000/10/Ha] 蓮沼籠子,「Die Vernetzung der japanbezogenen Bibliotheken in Deutschland mit der NACSIS-CAT, 3」,『日独図書館懇談会会報』(日独図書館懇談会) Vol. 14, No.4 (通号 55), 2000.10, p2-4
- [2000/10/Mo] 森岡倫子, 松浦淳子(国立音楽大学図書館)「音楽資料を対象とした OPAC のログの分析: 利用者の用いる検索語と検索方法」,『情報の科学と技術』, 50(10), 2000.10, p514.
- [2000/10/Ts] 土本潤「分散型総合目録とその発展の可能性について(特集: INFOSTA シンポジウム 2000)」,『情報の科学と技術』, 50(10), 2000.10, p508.
- [2000/10/Ya] 山下邦靖(日本大学生物資源科学部)「階層をもつ書誌データベースの構築における問題点:

- 特に単行書・逐次刊行物の二重性格を持つ資料への対応」、『情報の科学と技術』,50(10),2000.10,p506.
- [2000/11/In] 猪瀬博編『学術情報サービス：21世紀への展望：情報学シリーズ；1』,丸善,2000.11,1冊.
- [2000/11/Ko] 「複写申込ランキング調査による逐次刊行物の利用傾向について」,『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153),通号476,2000.11,p34-37.
- [2000/11/Ma] 松川伸一(九州大学大学院)「図書目録カードイメージ入力のパトルネック：大量データの正当性を検証する」『デジタル図書館』(ISSN13407287),No.19,2000.11,p5-18.
- [2000/11/No] 野口迪子「基本図書を中心として(特集：医学情報を探る,医学書を探る)」,『情報の科学と技術』,50(11),2000.11,p542-552.
- [2000/11/Ue] 上田修一,倉田敬子,吉野貴庸,石田栄美「WWW上のOPACにおける既知事項検索の諸問題」,『Library and Information Science』,no.41,2000.11,p1-15. *利用者の視点からOPACを評価
- [2000/12/In] 井上智雄,上野晴樹(国立情報学研究所)「NACSIS-ILL 自学システムの開発」,『NII Journal』,(国立情報学研究所 ISSN:13459996),1,2000.12,p43-49.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書所蔵レコード5,000万件突破!」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,2号,2000.12.25.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「WWW対応新CAT/ILL ゲートウェイ WebUIP の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,2号,2000.12.25.
- [2000/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースへの電子ジャーナルの登録」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,2号,2000.12.25.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で慰安の操作は大丈夫?」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,2号,2000.12.25.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成12年度総合目録データベース実務研修(目録担当者コース)報告」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,2号,2000.12.25.
- [2000/12/Mi] 宮崎敬,松島久夫,西村治(長野工業高等専門学校)「電子化の時代を迎えた高専図書館：長野高専における図書館情報化システムの導入とその利用について」,『長野工業高等専門学校紀要』(長野工業高等専門学校 ISSN:02861909),Vol.34,2000.12,p179-186
- 2001年(平成13年)**
- [2001/00/Ab] 阿部立郎(平和情報センター)「図書館における日本語データベースの現状：21世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題」,『日本情報の国際共有に関する研究；平成12年度報告』,2001,p227-239. *日本語自然文の解析ソフトウェア Happiness の紹介等.
- [2001/00/Go] 後藤敦子(東洋文庫ユネスコ東アジア文化研究センター)「アラビア文字図書における図書整理の現状と課題：東洋文庫アラビア語図書典拠ファイル作成の紹介」,『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成13年』,2001,p91-113.
- [2001/00/Ha] 濱口幾子「愛知県立看護大学附属図書館における図書館間相互協力について(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」,『東海地区大学図書館協議会誌』,通号46,2001,p18-20.
- [2001/00/Hi] 平井芳美「名古屋大学附属図書館におけるILL(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」,『東海地区大学図書館協議会誌』,通号46,2001,p15-17.
- [2001/00/Is] 石井啓豊「講演要旨>図書館活動の新しい展開の中で(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」,『東海地区大学図書館協議会誌』,通号46,2001,p8-14.
- [2001/00/Ka] 加藤直美「大学図書館における相互協力：東海地区私立大学図書館の動向を中心に(事例報告テーマ：大学図書館における相互協力(平成12年度第1回[東海地区大学図書館協議会]研修会))」,『東海地区大学図書館協議会誌』,通号46,2001,p21-23.

- [2001/00/Ko] **国立情報学研究所** 『中国との学術情報交流プロジェクト；2000 年度報告』, 2001, 89p. * 北京日本学術研究センターの目録データベース構築について。
- [2001/00/Ko] **国立情報学研究所** 『日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト；2000 年度報告』, 2001, 74p. * 米国 RLG 及び OCLC の各 ILL システムと NACSIS-ILL とを ISO の ILL プロトコルを用いてシステム間の相互利用の実現するための検討。
- [2001/00/Ku] **桑原節子** (ベルリン日独センター) 『ドイツ語日本関係図書館の新しい課題開催報告：21 世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題』, 『日本情報の国際共有に関する研究；平成 12 年度報告』, (平成 12 年度), 2001, p171-175.
- [2001/00/Ma] **松井幸子** 『名称典拠共同計画活動：文献展望』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p127-144. * 英文, NACO プログラムについて。
- [2001/00/Mi] **宮部浩之** 『図書館システム構築のヒント：ドキュメントから見たシステム作り』, 『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 40, 2001, p28-40.
- [2001/00/Mi] **宮澤彰** 『NACSIS-CAT のヨーロッパにおける展開：21 世紀における日本情報ドイツ語圏日本関係図書館の新しい課題』, 『日本情報の国際共有に関する研究；平成 12 年度報告』(平成 12 年度) 2001, p212-216. * ドイツの日本関係図書館における NACSIS-CAT 導入への提案。
- [2001/00/Mi] **宮澤彰** 『NACSIS-CAT 典拠コントロールの概念』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p7-12. * 英文付
- [2001/00/Na] **内藤衛亮** 『典拠データベースの可能性』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年度』, (平成 13 年度), 2001, p1-6.
- [2001/00/Na] **中村茂彦** 『IT を活用した目録の編集』, 『東京都立中央図書館研究紀要』(ISSN 09144005), (31), 2001, p3-56.
- [2001/00/Sa] **酒井清彦** 『NACSIS-CAT における著者名典拠レコードの現状』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年度』, (平成 13 年度), 2001, p7-24.
- [2001/00/Sa] **酒井清彦, 京藤貫** 『NACSIS-CAT における著者名典拠レコード：その機能と作成方法』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p13-45. * 英文付
- [2001/00/Sa] **酒井清彦, 京藤貫** 『NACSIS-CAT における著者名典拠データの記述方法』, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, 2001, p160-169. * 英文付
- [2001/00/Sh] **柴山盛生** (国立情報学研究所) 『わが国の大学図書館における学術情報流通状況の分析』, 『日仏図書館情報研究』(ISSN 09167684 日仏図書館情報学会)(27), pp. 53~58, 2001,
- [2001/00/Ta] **太刀川佑子, 松井幸子** 『NACSIS-CAT の著者名典拠ファイルの解析』, 『典拠情報と典拠コントロールの現状：国立情報学研究所共同研究「日本における国際書誌調整」；平成 13 年』(平成 13 年度), 2001, p57-79.
- [2001/01/Ha] **橋爪宏達** 『振り仮名を振ること』, 『プログラミング・シンポジウム報告書』, Vol.42nd 2001.01, p21-25. * NACSIS-CAT データベースの書名の「読み」に基づき漢字表記の分かちを行い, 高度な漢字書名索引を作成。
- [2001/01/In] **井上智雄, 上野晴樹** (国立情報学研究所) 『NACSIS-ILL システム講習の遠隔化に向けて』, 『情報処理学会研究報告』, Vol.2001, No.5 (GW-38), 2001.01, p37-42.
- [2001/01/Ky] **京藤貫** 『講演(1)NACSIS-CAT・ILL の現状と将来 (私立大学図書館協会第 61 回(2000 年度)総会・研究大会記録) -- (研究大会メインテーマ 大学図書館の新世紀)』, 『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 115, 2001.01, p112~116
- [2001/01/No] **野原千鶴** 『病院図書室のような小規模図書館での NACSIS-CAT-ILL の利用 (Q&A)』, 『医学図書館』, 48(1), 2001.01, p117-118.

- [2001/02/Ko] 国分一也『『国書総目録』を究めたい(特集:図書館員が書いた本の探し方; 4)』、『みんなの図書館』, no.286, 2001.02, p37-45.
- [2001/03/Fu] 船渡川清「引用リンクを基盤とした高機能学術文献情報プラットフォームの形成:国立情報学研究所(学術情報センター)情報サービス高度化に向けた一戦略」、『大学図書館研究』, No.61, 2001.03, p1-7.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所『日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト; 2000年度報告』, 2001.03, 21p.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録和文編 2000年版冊子体の出版」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「多言語対応 Webcat の利用方法」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-ILL システムの ISO ILL プロトコル対応」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で慰安の操作は大丈夫?(2)」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成12年度総合目録データベース実務研修(システム担当者コース)報告」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 3号, 2001.03.25.
- [2001/03/Ku] 工藤邦彦(福岡大学図書館)「目録データベースからみた漢字」, 『図書館学』(西日本図書館学会), No.78, 2001.03, p9-14. *UCSの採用.
- [2001/03/Ku] 熊野慎治「NACSIS-CAT 総合目録データベースにおける図書館誌の変化:ローカルシステムへ取込んだ後の修正に関する調査」, 『図書館界』, 52(6), 2001.03, p294-303.
- [2001/03/Mi] 宮澤彰(国立情報学研究所), 安立眞理子(チューリヒ大学東洋学部日本学科図書館)「チューリヒ大学日本学科図書館 NACSIS-CAT プロジェクト報告(事例報告)」, 『NII journal』(国立情報学研究所), (2), 2001.03, 81-91.
- [2001/03/Su] 杉田茂樹, 江口浩二「目録データベースと Web コンテンツの統合的利用方式」, 『情報処理学会研究報告』(ISSN:0919-6072), Vol.2001 No.20-(FI-61 NL-142), 2001.03, p153-158.
- [2001/03/Su] 杉田茂樹「図書に関する異種情報資源の統合的利用方式に関する一検討」, 『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成12年度), 2001.03, p1-12. *目録データベースと WWW 上に分散する非定型な書評コンテンツの統合および連携方式を試作.
- [2001/03/Wa] 渡部聡彦, 武井純孝, 杉本雅則, 中川裕志「携帯端末への書誌・所蔵館情報の表示方法」, 『情報処理学会年次大会発表論文集』, Vol.7th, 2001.03, p139-142.
- [2001/04/Ii] 飯倉忍「Z39.50の行く末(CA1386)」, 『カレントアウェアネス』, No.260, 2001.04, p7-8.
- [2001/05/Ya] 山中秀夫「古典籍の記述対象単位に関する考察:総合目録における資料の同定の可能性」, 『ピブリア』(天理図書館), No.115, 2001.05, p142-156.
- [2001/05/Yo] 米澤誠「<教育講演>病院図書室で利用できる NACSIS サービス[含質疑応答](全国図書研究会)」, 『日本病院会雑誌』, 48(5), 2001.05, p697-704.
- [2001/06/As] 浅井将行「『医学洋書総合目録』に関するアンケート調査:結果報告」, 『医学図書館』, (日本医学図書館協会 ISSN:04452429) Vol.48, No.2, 2001.06, p218-222.
- [2001/06/Ko] 国立国会図書館逐次刊行物部新聞課「全国新聞総合目録データベースについて」, 『国立国会図書館月報』(ISSN:00279153), 通号483, 2001.06, p1-8.
- [2001/06/Mo] 茂出木理子「東京大学における新しい情報サービスの戦略と展開:利用者は電子図書館サービスに何を求めているのだろうか?」, 『INFOSTA シンポジウム予稿集』, No.2001, 2001.06, p63-66.
- [2001/07/Sh] 志保田務, 中村恵信「書誌情報の集中提供システムの成立と利用関係マニュアル策定の相関:その読み取りの試み(特集[日本図書館研究会]第42回研究大会)(グループ研究発表)」, 『図書館界』, Vol.53, No.2, 2001.07, p142-145.

- [2001/07/Wa] 渡邊隆弘「図書館目録とメタデータ（特集[日本図書館研究会]第42回研究大会）（グループ研究発表）」、『図書館界』, Vol. 53, No. 2, 2001.07, p126-133.
- [2001/08/Ka] 鹿島みづき（愛知淑徳大学図書館）「CORC プロジェクトに参加して（メタデータ Part2：21世紀のメタデータの利用方法と可能性）」、『情報の科学と技術』（社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801）, Vol. 52, No. 8, 2002.08, p409-417.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「韓国・朝鮮語資料の取扱い(案)の公開」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「REMARCの導入」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録欧文編 2002年版データ更新の開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 4号, 2001.08.17.
- [2001/08/Ma] 増元弘信（広島大学附属図書館）「小規模資料群の遡及入力法試論：OCRソフトとJGAWKを使用して」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）No. 62, 2001.08, p27-36.
- [2001/08/Mi] 三浦敬子, 松井幸子「欧米における著者名典拠ファイルの共同作成の動向」, 『日本図書館情報学会誌』（日本図書館情報学会 ISSN:13448668）, Vol. 47, No. 1, 2001.08, p29-41.
- [2001/08/Mo] 森山光良「分散型総合目録ネットワークの分類と評価：図書館ネットワークの発展段階と標準化過程におけるZ39.50の位置付け」, 『図書館雑誌』（日本図書館協会, ISSN:03854000）, 95(8) 2001.08, p554-557.
- [2001/08/Mu] 村上泰子（梅花女子大学）「図書館界とメタデータ：米国議会図書館の戦略を中心に（メタデータ Part2：21世紀のメタデータの利用方法と可能性）」, 『情報の科学と技術』（社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801）, Vol. 52, No. 8, 2002.08, p402-408.
- [2001/08/Oo] 大野友和, 久保木和義, 平田さくら（明治大学図書館）「国際協力事業としての図書館づくり：韓国・翰林大学校日本学研究所図書整理を支援して」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）, No. 62, 2001.08, p13-19. *韓国図書館におけるNACSIS-CATの利用
- [2001/08/To] 富田健市「海外日本語図書館への情報化支援：北京日本学研究中心の場合（国立情報学研究所中国との学術情報プロジェクト）」, 『大学図書館研究』（学術文献普及会 ISSN:03860507）No. 62, 2001.08, p20-26. *1998年7月から始まった3か年プロジェクトの概要。
- [2001/08/Uz] 鶴澤和往「ISO ILL プロトコルとNACSIS-ILL」, 『カレントアウェアネス』, no. 264, 2001.08, p2-4.
- [2001/09/Fu] 藤沢みどり「大学図書館と公共図書館の相互貸借の事例：厚木方式とは（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸借）」, 『現代の図書館』（日本図書館協会 ISSN:00166332）, Vol. 39, No. 3, 2001.09, p146-152.
- [2001/09/It] 伊藤民雄（実践女子大学図書館）「東アジアの書誌ユーティリティ（特集：書誌情報）」, 『医学図書館』, Vol. 48, No. 3, 2001.09, p274-281. *書誌ユーティリティの機能としてNIIへ提言。
- [2001/09/Ki] 北克一, 呑海沙織「学術情報流通の変容と大学図書館：20世紀最後の10年間〔図書館界〕300号記念特集：図書館・図書館学の発展 21世紀を拓く（図書館サービス）」, 『図書館界』, Vol. 53, No. 3, 2001.9, p301-313. *10年間の関係文献のレビュー。
- [2001/09/Ko] 河野綾音「岐阜県における図書館資料相互貸借と県域総合目録の現状（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸借）」, 『現代の図書館』（日本図書館協会 ISSN:00166332）, Vol. 39, No. 3, 2001.09, p125-130.
- [2001/09/Ku] 町田敬一郎「山口県域総合図書目録構築の試み」, 『図書館学』（西日本図書館学会）, 79 2001.9, p15-21.
- [2001/09/Sa] 阪口哲男（図書館情報大学）「XMLと図書館目録（書誌情報）」, 『医学図書館』, (日本医学図書館協会 ISSN:04452429) Vol. 48, No. 3, 2001.09, p282-289. *RDFによるメタデータの記述。
- [2001/09/Sh] 柴田正美「図書館ネットワークの意義と課題（特集：ネットワーク時代の図書館資料相互貸借）」

- 借),『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09, p115-124.
- [2001/09/Ta] 田窪直規「書誌情報とその標準化([図書館界]300号記念特集:図書館・図書館学の発展 21世紀を拓く) (資料の組織化と標準化)」,『図書館界』,Vol.53, No.3, 2001.9, p364-376.
- [2001/09/Ta] 田邊稔「ドキュメントデリバリーサービスの実際と応用(概説):グローバル ILL/DDS を目指して(特集:ネットワーク時代の図書館資料相互貸借)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09 p159-166.
- [2001/09/Yo] 米澤誠「NACSIS-CATの現状と総合目録データベース統計(特集:書誌情報)」,『医学図書館』, (日本医学図書館協会 ISSN:04452429) Vol.48, No.3, 2001.9, p267-273.
- [2001/09/Yo] 吉田倫子「総合目録と相互貸借考:横浜市の現状から見てきたこと(特集:ネットワーク時代の図書館資料相互貸借)」,『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.39, No.3, 2001.09 p131-139.
- [2001/10/Ko] 小島浩之「図書館とOPAC(学術リソースレビュー:学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.2, 2001.10, p156-161.
- [2001/10/Ko] 小島浩之「大学図書館利用者のためのオンライン目録学」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.2, 2001.10, p31-39.
- [2001/10/Mi] 宮澤彰「NACSIS-CAT総合目録における中国書目録」,『 』(),, 2001.10. *Web上
- [2001/10/Sa] 斎藤敏治, 酒井香里, 松田明子, 石崎明男(東京都立航空工業高等専門学校)「東京都立航空高等専門学校図書館蔵書検索システムの構築」,『研究紀要』(東京都立航空工業高等専門学校 ISSN:03871355) Vol.38, 2001.10, p169-171.
- [2001/11/Mi] 三浦勲「外国文献複写と著作権(特集:図書館・情報センターと法制度)」,『情報の科学と技術』, 51(11), 2001.11, p579-584.
- [2001/11/Mo] 森山光良「Z39.50とDublin Coreを用いた郷土関係電子図書館ネットワークの構築:「デジタル岡山大百科」における構想と課題」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.21, 2001.11, p3-18.
- [2001/11/Su] 杉本重雄「Dublin Core 最近の話題から」,『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.21, 2001.11, p19-27.
- [2001/11/Ta] 玉井良知「国立国会図書館総合目録ネットワークの参加館拡大:市町村立図書館等443館が新規参加」,『国立国会図書館月報』,(通号488), 2001.11, p1-9.
- [2001/11/Ue] 上村順一「BL, UKMARCからMARC21へ変換」,『カレントアウェアネス』, 267, 2001.11, p2-3.
- [2001/11/Yo] 米澤誠「目録システム(NACSIS-CAT)の多言語対応」,『全国共同利用大型計算機センター研究開発センター研究開発論文集』, No.23, 2001.11, p81-88. *CATPサーバにおける多言語対応。
- [2001/12/Ha] 原正一郎, 安永尚志「国文学研究支援のためのデータベース統合の試み」,『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2001, No.18, 2001.8, p125-132. *Z39.50規約とダブリンコア・メタデータの採用。
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「今後の多言語対応計画」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 5号, 2001.12.20.
- [2001/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースにおける劣化資料の取扱い」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 5号, 2001.12.20.
- [2001/12/Mu] 村上かおり「中国の図書館ネットワーク・CALISの現状(CA1443)」,『カレントアウェアネス』, No.268, 2001.12, p7-8.
- [2001/12/No] 野村知子「図書館複写サービスと著作権:「利用者のための複製」規定を中心として」,『純真紀要』(純真短期大学), 42, 2001.12, p37-55.
- [2001/12/On] 小野亘「国立大学図書館政策を概観する(小特集:大学政策と大学図書館)」,『大学の図書館』, 20(12)(通号337), 2001.12, p242-244.
- [2001/12/Zh] 張権(Zhang Q), 李晨英(Li), 韓明血傑(Han M)(中国農業大学西校区図書館)「CALIS日本語資料共同目録作成における研究報告」,『大学図書館研究』(学術文献普及会 ISSN:03860507), No.63,

2001.12, p9-16.

2002年(平成14年)

- [2002/00/Ch] 千野国広「山梨県における総合目録データベースの取り組み(平成14年度関東地区公共図書館協議会研究集会・研究発表大会)」、『関東地区公共図書館協議会研究集会報告書』(2002年度),2002, p6-8.
- [2002/00/Ir] 入江伸「ライブラリーシステム研究会の経過とシステムの課題:図書館システムの標準化に向けて(特集:図書館を結ぶ新しい協力のかたち)」、『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号9), 2001/2002, p8-11.
- [2002/00/Ka] 金原優「学術専門出版物利用の適正化に向けて(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p138-144.
- [2002/00/Ko] 国立情報学研究所「日米両国におけるドキュメント・デリバリー・サービスの改善に関するプロジェクト;2001年度報告」,(2001年度), 2002, 132p.
- [2002/00/Mi] 南亮一「学術文献の利用をめぐる最近の著作権制度の動向について(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p121-127.
- [2002/00/Mi] 三浦勲「文献複写の著作権問題をとりまく現状と問題点(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p114-120.
- [2002/00/Mi] 宮澤彰「東アジア図書館ネットワークのネットワーク:可能性の検討」, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3rd), 2002, p5-8. *英文付
- [2002/00/Na] 中西敦男「学著協をめぐる新しい動き(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p132-137.
- [2002/00/Na] 長坂功「OPAC横断検索:相互貸借物流に関する調査について」, 『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 41, 2002, p65-79.
- [2002/00/Sa] 酒井清彦, 京藤真「NACSIS-CATにおける最近の動向」, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3rd), 2002, p9-22. *英文付
- [2002/00/Su] 末廣恒夫「文献複写の現状と問題点(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p145-147.
- [2002/00/Ya] 山下邦夫「日本複写権センターについて(特集:文献複写の著作権をめぐる問題)」, 『薬学図書館』, 47(2) (通号176), 2002, p128-131.
- [2002/00/Yo] 横山幸雄, 本橋修「国立国会図書館における目録作業:2002年4月以降の概要及びNIIとの関係を中心に」, 『Record of Workshop on Authority Control among Chinese, Korean and Japanese Language』, (3rd), 2002, p13-38. *英文付
- [2002/00/Yo] 米井勝一郎, 大橋美佳「WebUIPによる中国語雑誌書誌レコードの登録について:愛知県立大学附属図書館におけるNACSIS多言語化への対応」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, 通号47, 2002, p40-45.
- [2002/02/Is] 石黒啓子「図書館システム更新てんまつ記」, 『中部図書館学会誌』, 43, 2002.02, p40-45.
- [2002/02/Ka] 加藤好郎「大学図書館における複写問題:日本複写権センターとの対応と著作権」, 『日本農学図書館協議会誌』, 123, 2002.02, p1-8.
- [2002/02/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ「大学図書館における著作権問題Q&A;[第1版]」, 2002.02. *国立大学図書館協会のWebサイトで公開.
- [2002/02/Ku] 黒澤公人, 相徳真理「電子ジャーナル:図書館WebOPACを活用した電子情報の提供」, 『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.52, No.2, 2002.02, p73-78.
- [2002/03/It] 伊藤民雄「大学図書館とインターネット(講演会報告)」, 『私立大学図書館協議会東地区研究部会相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p176-192.
- [2002/03/Ka] 加藤好郎「大学図書館の相互協力の展望:グローバル・リソース・シェアリングの必要性(講

- 演会報告)』、『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p164-175.
- [2002/03/Ki] **北克一**「21世紀の国立国会図書館：書誌コントロール、総合目録、データベース、電子図書館：志保田務「日本における国立図書館機能、国民のための図書館奉仕：史的考察」について（シリーズ：21世紀の図書館を展望する：対論編3）」、『図書館界』, vol.53, no.6, 2002.03, p540-545.
- [2002/03/Ko] **小島浩之**「現代中国書の書誌的特長」、『大学図書館研究』(ISSN 03860507), No.64, 2002.03, p1-9.
- [2002/03/Ko] **国公立大学図書館協力委員会著作権問題拡大ワーキンググループ**「大学図書館著作権問題ワークショップ(報告):国公立大学図書館協力委員会ニュース」、『大学図書館研究』, Vol.64, 2002.03, p64-71.
- [2002/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「韓国・朝鮮語資料の取扱い」,「韓国・朝鮮語資料の取扱い」解説の公開」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「和漢古書に関する取扱い(案)及び解説(2002年3月5日)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「和漢古書に関する取扱い(案)及び解説(2002年3月5日)」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「NACSIS-CAT Z39.50 クライアント機能の開発」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「NACSIS-CAT Z39.50 ゲートウェイサーバの本格運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 6号, 2002.03.29.
- [2002/03/Ky] **京藤貢**「<事例紹介>国際的な図書館間接続による文献提供サービスの開始：NACSIS-ILL と OCLC-ILL とのシステム間リンクの実現(特集/大学図書館)」,『大学と学生』(第一法規 ISSN 02864657), 447, 2002.03, p38-44.
- [2002/03/Mi] **宮澤彰**『図書館ネットワーク：書誌ユーティリティの世界』(丸善), 2002.03, 193p. *内容：「1.書誌ユーティリティ, 2.諸誌ユーティリティの誕生, 3.書誌ユーティリティのサービス, 4.日本における書誌ユーティリティの展開, 5.世界の書誌ユーティリティ, 6.最近の技術動向から」. NACSIS-CATに関する最も重要な基本文献の一つ。特に、第4章ではNACSIS-CATの設計思想が詳述されている。
- [2002/03/Mo] **森山光良**「総合目録ネットワークの現状と課題：異館種連携による統合的な電子図書館ネットワークの実現に向けて(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p167-170.
- [2002/03/Ok] **岡田隆**「山口県総合図書目録システムの取り組みから：小規模図書館の参画を目指して(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」,『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p177-179.
- [2002/03/Sa] **佐野広明**(京都大学総合人間学部図書館)「マークアップ言語を用いた目録データの変換について」,『学術情報センター・セミナー研究レポート』,(平成13年度), 2002.03, p1-14. *コシュート・ラヨシュ大学(洪)日本語図書室のSGMLを用いた目録作成システムの紹介とその発展形としてのXML技術を用いたシステム構築を試みる。NACSIS-CATデータのMARC21フォーマットへの変換法の提案。
- [2002/03/Sa] **佐藤大, 増田英孝, 渡部聡彦**「WAP系言語によるOPAC検索インタフェースの実装」,『情報処理学会全国大会講演論文集』, Vol.64th No.3, 2002.03, p3.545-3.546.
- [2002/03/Sh] **柴山盛生**「わが国の大学図書館における学術情報流通状況の分析」,『NII Journal』(国立情報学研究所 ISSN 13459996)(4), 2002.03, p61-72. *学総目データベースを用いて学術雑誌の流通状況を分析。
- [2002/03/Ta] **高橋菜奈子**「韓国の図書館におけるILL活動と国際ILL事情」,『大学図書館研究』(ISSN 03860507), No.64, 2002.03, p25-37.
- [2002/03/Ta] **高橋昇**「海外ILLハンドブック(補遺版)(講演会報告)」,『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 9, 2002.03, p193-.

- [2002/03/Ta] 玉井良知「国立国会図書館総合目録ネットワークの現況：全国の公共図書館 512 館が参加館に(特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」、『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.3, p171-173.
- [2002/03/Ya] 安岡孝一「全国漢籍データベースの設計とその運用」、『京都大学大型計算機センター研究セミナー報告』, Vol.69th, 2002.03, p3-14.
- [2002/03/Yo] 米澤誠「NII 総合目録データベースと NACSIS-CAT の展開 (特集 総合目録ネットワークの新しい展開)」、『図書館雑誌』(日本図書館協会, ISSN:03854000), 96(3) (通号 940), 2002.03, p 174-176.
- [2002/03/Yo] 米澤誠「国立情報学研究所のメタデータ共同構築計画」、『デジタル図書館』(ISSN13407287), No.22, 2002.03, p30-35.
- [2002/04/Ab] 阿部年展 (エム・ピー・エー)「プロダクトレビューMILAGO (NACSIS 利用例)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p53-56. *新 CAT 接続ソフトウェア
- [2002/04/Do] フィリピ,ドミニク FILIPPI Dominique (日仏会館図書室)「日仏会館図書室:日本のネットワークにおけるフランス専門図書館の役割(<特集>海外の情報を提供する専門図書館)」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801), Vol.52, No.4, 2002.04, p224-228.
- [2002/04/Fu] 福永千鶴 (山口県済生会下関総合病院)「病院図書室での NACSIS-ILL 利用例 Web 版 (NACSIS 利用例)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p42-45. *WebUIP の活用。
- [2002/04/Sa] 佐藤正 (ブレインテック)「プロダクトレビュー:BT-CATP/ILL (NACSIS 利用例)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p49-52. *新 CAT 接続ソフトウェア
- [2002/04/Sa] 米澤誠 (国立情報学研究所)「病院図書室の NACSIS 目録所在情報サービスへの参加 (NACSIS 利用例)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p39-41.
- [2002/04/Yo] 吉見八重 (愛媛県医療技術短期大学)「BT-CATP/ILL を導入して (NACSIS 利用例)」、『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.27, No.1, 2002.04, p46-48.
- [2002/05/Ko] 国公私立大学図書館協力委員会「大学図書館における著作権法と図書館の今日的問題(特集:図書館と著作権法の今日的状況と課題)」、『図書館雑誌』, 96(5) (通号 942), 2002.05, p302-304.
- [2002/05/Mu] 村上泰子「International Coalition of Library Consortia (ICOLC) の動向(特集:図書館コンソーシアムの動向)」、『情報の科学と技術』, Vol.52, No.5, 2002.05, p266-271.
- [2002/06/Mu] 村上幸二, 中尾泰士「オープンソースを用いた主題語と NDC カテゴリの統合による図書主題検索システムの開発」、『情報管理』(ISSN00217298), Vol.45, No.3, 2002.06, p180-189.
- [2002/06/Na] 中林雅士「個人情報の保護と図書館システム:明治大学図書館を事例として(特集 図書館の危機管理)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol.40, No.2 (通号 162), 2002.06, p99-107.
- [2002/07/Ho] 細川聖二「NACSIS-CAT/ELS/IR の紹介」、『日本病院会雑誌』(ISSN:03859363), No.49, No.7, 2002.07, p1072-1078.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RLG との目録システム間リンクの運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「図書館蔵レコード 6,000 万件突破!」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「OCLC との ILL システム間リンクの運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「メタデータ・データベース共同構築システムの試行運用開始および NII メタデータ記述要素(案)の公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 7号, 2002.07.01.
- [2002/07/Mi] 宮澤彰 (講演)「NII-NDL 間における書誌コントロールの課題」, 『書誌コントロールの課題(書誌調整連絡会議記録集;第2回)/国立国会図書館編』, 国立国会図書館, 2002.07, p53-. *第2回書誌調整連絡会議(とき:2001年11月21日, ところ:国立国会図書館新館3階研修室)
- [2002/07/Sh] 志保田務「日本における書誌基準実質決定システムの変遷に関する一考察(特集:[日本図

- 書館研究会]第43回研究大会)(グループ研究発表)、『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p116-121.
- [2002/07/Ts] 土屋俊「大学図書館サービスと著作権(特集:[日本図書館研究会]第43回研究大会)」、『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p54-58.
- [2002/07/Yo] 吉田暁史,田窪直規,堀池博巳「記述対象と書誌記述:細菌における国際的な目録研究および規則改訂動向をふまえて(特集:[日本図書館研究会]第43回研究大会)(グループ研究発表)」、『図書館界』,Vol.54, No.2(通号305),2002.07, p110-115.
- [2002/08/Eg] 江上敏哲「主に女性研究者の結婚に伴う改正・旧姓と目録・書誌・データベース類について」、『大図研論文集』(大学図書館問題研究会 ISSN:02866862),No.24,2002.08, p1-22.
- [2002/08/Ko] 小島 浩之「NACSIS-CATの多言語化と中国書目録:『中国語資料の取扱い(案)』の検討」、『大図研論文集』(大学図書館問題研究会 ISSN:02866862),No.24,2002.08, p23-42.
- [2002/09/Is] 石川徹也「図書館システムの機能(<特集>図書館システムと評価)」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p449-454.
- [2002/09/Ki] 気谷陽子「学術図書館における学術文献の供給可能率に関する研究」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p477-483.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「東京大学東洋文化研究所「現代中国書データベース」のRECONファイルへのロード」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「目録で今の操作は大丈夫?」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ドイツでの目録システム講習会開催」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,8号,2002.09.13.
- [2002/09/Ku] 工藤邦彦(福岡大学図書館)「ハングル資料の目録作成」、『図書館学』(西日本図書館学会),No.81,2002.09, p28-36. *ハングルの文字コード番号やローマ字表記法による入力,検索,表示.
- [2002/09/Ku] 黒澤公人「図書館システムを評価する視点(図書館システムと評価)」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p443-448.
- [2002/09/Sa] 佐藤正(ブレインテック)「図書館総合情報管理パッケージソフト「情報館 5.0」の特色と「情報館」関連製品について(図書館システムと評価)」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p460-465.
- [2002/09/To] 鳥井伸哉(日本電子計算)「日本電子計算(株)の図書館情報ネットワークシステム LINUS/NCの特色(図書館システムと評価)」、『情報の科学と技術』(社団法人情報科学技術協会 ISSN:09133801),Vol.52, No.9,2002.09, p455-459.
- [2002/10/Ko] 小島浩之「図書館とOPAC(学術リソースレビュー:学術サイト)」、『漢字文献情報処理研究』(好文出版),No.3,2002.10, p162-165.
- [2002/11/Mi] 溝上智恵子「学術情報流通を支える法制度」、『図書館を支える諸制度:シリーズ・図書館情報学のフロンティア;No.2/日本図書館情報学会研究会編』,勉誠出版,2002.11, p125-145.
- [2002/11/Sa] 咲尾佳秀「学術文献とその課題:大学図書館と相互貸借」、『病院図書館』,Vol.22, No.4,2002.11, p168-170.
- [2002/12/Ki] 気谷陽子「博士論文の引用分析を用いた博士課程大学院生の文献利用についての研究:筑波大学の事例」、『大学図書館研究』,No.66,2002.12, p33-41.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「REMARCの提供開始」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「Webcat Plusのサービス開始」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18. *平成14年10月8日からサービスを開始したWebcat Plusの概要.
- [2002/12/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「学術雑誌総合目録」冊子体の刊行終了」、『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』,9号,2002.12.18.

- [2002/12/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「平成 14 年度総合目録データベース実務研修の実施報告」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 9号, 2002.12.18.
- [2002/12/Ku] **黒澤節男**「図書館サービスと著作権の今日的課題 (特集: 著作権・公貸権・図書館)」, 『現代の図書館』, 40(4), 2002.12, p207-214.
- [2002/12/Na] **中井恵久**「OCLC Connexion: 目録サービスの統合(CA1477)」, 『カレントアウェアネス』, No.274, 2002.12, p3-4.
- [2002/12/Ny]「ニュース: 目録所在情報サービスの最近の話題から」, 『大学図書館研究』, No.66, 2002.12, p68-74.
- [2002/12/Ta] **高橋晶子**「早稲田大学中央図書館の海外 ILL: 現状と課題」, 『大学図書館研究』, No.66, 2002.12, p33-41. * OCLC-WorldCat への日本語図書登録
- [2002/12/Wa] **和中幹雄**「<動向レビュー>AACR 改訂と FRBR をめぐって: 目録法の最新動向 (小特集: 電子情報提供の基盤)(CA1480)」, 『カレントアウェアネス』, No.274, 2002.12, p11-14.
- 2003 年 (平成 15 年)**
- [2003/00/Se] **関口素子**「新 ILL システム: 開発の経緯とその特徴」, 『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 10), 2003, p36-38.
- [2003/00/Tu] **土屋俊**「(講演要旨)現代の大学図書館と著作権」, 『東海地区大学図書館協議会誌』, (通号 48), 2003, p2-15.
- [2003/02/Am] **雨森弘行**「<講演>すべての図書館をすべての利用者に: 目標達成のための方略を求めて」, 『中部図書館学会誌』, 44, 2003.02, p1-15.
- [2003/02/Su] **杉田茂樹, 小陳左和子**「国立情報学研究所この一年: 新たな事業展開 (特集: 大学図書館界の最近の話題から)」, 『大学の図書館』, 22(2) (通号 351), 2003.02, p18-20.
- [2003/02/To] **豊田裕昭**「一橋大学附属図書館所蔵漢籍の「全国漢籍データベース」へのデータ提供について (特集: 大学図書館界の最近の話題から)」, 『大学の図書館』, 22(2) (通号 351), 2003.02, p23-25.
- [2003/03/As] **浅倉秀三**(中部大学)「JAPAN/MARC 書誌データの XML への変換と検索実験」, 『情報科学リサーチジャーナル』, Vol.10, 2003.03, p87-92. * XML データベースを使用した JAPAN/MARC 書誌管理システムの構築。
- [2003/03/Hi] **樋熊須美子**(新潟市民病院図書室)「基礎講座「分類・目録入門」」, 『ほすびたるらいぶらりあん』, Vol.28, No.1, 2003.03, p16-21. * NACSIS-CAT への参加を前提として。
- [2003/03/In] **井上修・訳**「地球規模の資源共有の促進に向けて: 北米におけるグローバル ILL フレームワーク(GIF)構想の現状(国際学術コミュニケーション特集)」, 『大学図書館研究』, No.67, 2003.03, p15-18.
- [2003/03/Ki] **金容媛**「主要国の図書館情報政策の概要・日本」, 『図書館情報政策/金容媛著』, 丸善, 2003.03, p140-151.
- [2003/03/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「目録所在情報サービスに関する質問・報告の受付」の運用」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 10号, 2003.03.17.
- [2003/03/Ko] **小西和信**「書評『図書館ネットワーク: 書誌ユーティリティの世界』宮澤彰著」, 『大学図書館研究』, No.67, 2003.03, p93-95.
- [2003/03/Mo] **森本英之**「RLIN に収載された TRC MARC 書誌レコード: その日本語図書に対する LC 準拠目録の慣行との互換性 (特集: 国際学術コミュニケーション)」, 『大学図書館研究』, No.67, 2003.03, p58-69.
- [2003/03/Mu] **村田邦恵**(北海道大学附属図書館)「北海道の公共図書館 WebOPAC 横断検索システムの試作」, 『学術情報センター・セミナー研究レポート』, (平成 14 年度), 2003.03, p1-40. * ILL 支援ツールとして Web 上の OPAC の横断検索システムを試作。
- [2003/03/Ne] **根岸正光**「図書館とモバイル・アクセス: i モード対応システムにおける図書館員・利用者の経験」, 『大学図書館研究』, No.67, 2003.03, p50-57.
- [2004/03/Ta] **田坂憲二**「『川端康成全集』と NACSIS Webcat」, 『文藝と思想』, no.67, 2003.02, p309-323.
- [2003/03/To] **梶谷泰文**「グローバル ILL/DD フレームワーク: その理念と背景 (国際学術コミュニケーション)

- オン特集)」、『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p1-10
- [2003/03/Uz] 齋沢和往「グローバル ILL と NACSIS-ILL の ISO ILL プロトコル対応の概要 (国際学術コミュニケーション特集)」, 『大学図書館研究』, No. 67, 2003.03, p19-27.
- [2003/03/Ya] 山岡規雄「ドイツのドキュメントサプライサービス subit o の現在 (CA1484)」, 『カレントアウェアネス』, No. 275, 2003.03, p3-4.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「従来システムの廃止と新システムへの移行について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11号, 2003.07.11.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「和漢古書に関する取扱い及び解説」「コーディングマニュアル (和漢古書に関する抜粋集)」の公開」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11号, 2003.07.11.
- [2003/07/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「アラビア文字資料の運用開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 11号, 2003.07.11.
- [2003/08/Ya] 山本一治「ネットワークリソースの目録作成: 対象資料とレコード作成単位について」, 『大学図書館研究』, No. 68, 2003.08, p1-13.
- [2003/09/Ki] 北克一「<研究文献レビュー>電子資料と目録規則, メタデータ, リンキング・テクノロジー」, 『カレントアウェアネス』, No. 277, 2003.09, p19-24.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2003) の開催」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RLG 参照ファイルの運用について」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「KORMARC の導入」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「グローバル ILL 現物貸借サービスの開始」, 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 12号, 2003.09.12.
- [2003/09/Ma] 松井一子「RLG の新総合目録 RedLightGreen に見る図書館目録の可能性」, 『カレントアウェアネス』, No. 277, 2003.09, p7-8.<<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php?itemid=934>>
- [2003/09/To] 遠山潤「書誌単位と出版年: Webcat, Webcat Plus, NDL-OPAC の書誌的記録に関する比較分析」, 『図書館学』(西日本図書館学会), No. 83, 2003.09, p13-23.
- [2003/09/Sh] 荘司雅之, 金子昌嗣, 小松尚久「図書館におけるデジタル・リソースへの対応と課題: 早稲田大学図書館の事例など」, 『電子情報通信学会技術研究報告』(ISSN09135685), 103(325) (IE2003 55-67), 2003.09, p7-12.
- [2003/09/Ya] 山本毅雄, 宮澤彰「ユニークタイトルの電子アーカイブ(1): 予備的統計と保存の提案」, 『NII journal』(国立情報学研究所 ISSN:13459996), vol. 7, 2003.09.30, p27-36.
- [2003/10/Iz] 泉沢久美子「アジア経済研究所図書館の OPAC と新着アラートサービス」, 『情報管理』(ISSN00217298), Vol. 46, No. 7, 2003.10, p463-468.
- [2003/10/Ko] 小島浩之「図書館と OPAC (学術リソースレビュー: 学術サイト)」, 『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No. 4, 2003.10, p138-141.
- [2003/10/Ta] 高橋智, 筒井利子, 片桐裕恵「慶應義塾大学所蔵和漢古書目録作成プロジェクト」, 『Medianet』(慶應義塾大学メディアセンター本部), No. 10, 2003.10.
- [2003/11/Am] 雨森弘行「『国大図協』と共に歩んで: “温故知新”への想い」, 『国立大学図書館協議会ニュース資料』, No. 70, 2003.11, 1冊
- [2003/11/Sh] 志保田務, 北克一「戦前期における大学等の総合目録・目録規則策定に関する史的考察」, 『資料組織化研究』, (通号 48), 2003.11, p23-29.
- [2003/12/Fu] 藤巻俊樹「早稲田大学図書館目録の推移と今後について (特集 目録はサービスである)」, 『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332), Vol. 41, No. 4 (通号 168), 2003.12, p206-210.
- [2003/12/Ha] 橋詰秋子「米国に見る「新しい図書館目録」とその可能性: ペイツレポートを中心に (特集

目録はサービスである)』、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p222-230. *ベイツ教授のレポート「図書館目録とポータル情報における利用者アクセスの向上」(2003年7月)の概要解説。

[2003/12/Ka] **加藤均**「複写サービスを提供する側からみた著作権(特集:著作権)」、『医学図書館』,50(4), 2003.12, p337-340.

[2003/12/Ki] **気谷陽子**「学術情報システムのもとでの大学図書館サービスの展開」、『日本図書館情報学会誌』,49(4), 2003.12, p137-155. *1980~2002年までの大学図書館サービスの展開を統計的に実証。

[2003/12/Ku] **黒澤節男**「図書館と著作権(特集:著作権)」、『医学図書館』,50(4), 2003.12, p325-330.

[2003/12/Ok] **岡本真**「利用者の目からみた図書館の目録:評価する点,改善すべき点,期待する点(特集目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p217-221. *OPAC インターフェースに工夫を。

[2003/12/Oo] **大場高志**「国立情報学研究所の動向:書誌ユーティリティの現状と将来(特集目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4(通号 168), 2003.12, p201-205. *品質管理,多言語化,遡及入力事業,メタデータ・データベース等

[2003/12/Sh] **白石英里子**「整理業務の変質?:図書館員はどうあるべきか(特集目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4 (通号 168), 2003.12, p179-184.

[2003/12/Yo] **横山幸雄**「書誌情報に関する方針と計画:国立国会図書館の動向(特集目録はサービスである)」、『現代の図書館』(日本図書館協会 ISSN:00166332),Vol.41, No.4(通号 168), 2003.12, p185-193.

2004年(平成16年)

[2004/00/Ki] **木藤るい, 沢田純子**「目録の質の向上をめぐる」、『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 11), 2004, p58-59.

[2004/00/Ko] **国立情報学研究所コンテンツ課**「欧州 NACSIS-CAT 参加館との会合(事業活動)」、『NII ニュース』, (24), 2004, p7-8

[2004/00/Na] **中田晴美**「大学ポータルと図書館システムの連携:名古屋学院大学の事例」、『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2004, p20-27.

[2004/00/Sa] **楠原佐知子, 舟橋努**「事例報告3 医科大学における相互貸借業務の現状:2004(平成16)年度[私立大学図書館協会西地区部会]東海地区協議会図書館実務担当者研修会記録」、『館灯』(私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会), 43, 2004, p101-104.

[2004/00/Ta] **田中真紀, 吉井由紀子**「図書館 Web サービスの現状と今後の展開」、『Medianet』(慶応義塾大学メディアセンター本部), (通号 11), 2004, p39-41.

[2004/00/Wa] **和中幹雄, 古川肇, 永田治樹**「書誌レコードの機能要件:IFLA 書誌レコード機能要件研究グループ最終報告」,(日本図書館協会), 2004, 121p.

[2004/02/Sh]「総会議案 ILL システムにかかる文献複写料金等相殺処理サービスの概要(案):私立大学図書館協会第 64 回(2003 年度)総会記録」、『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 121, 2004.02, p75-80.

[2004/03/Ha] **早瀬均, 笹川郁夫, 梶谷泰文[ほか]**「大学図書館の国際化関連(2)GIF:大学図書館の国際連携 GIF の取り組みについて(70号記念特集号:大学図書館の変革 その現状と展望)」、『大学図書館研究』, No.70, 2004.03, p55-62.

[2004/03/Ku] **工藤邦彦**(福岡大学図書館)「板本の書誌作成」、『図書館学』(西日本図書館学会), No.84, 2004.03, p19-29. *刊(出刊)・印(摺り)・修(補修,修訂)の記述の扱い方。

[2004/03/Oo] **大場高志, 杉田茂樹**「国立情報学研究所のメタデータ・データベース共同構築事業について(70号記念特集号:大学図書館の変革 その現状と展望)」、『大学図書館研究』, No.70, 2004.03, p25-30.

[2004/03/So] **[相互協力研究分科会]**「第1章 相互協力ハンドブック」、『私立大学図書館協議会東地区研究部会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p1-35.

- [2004/03/So] [相互協力研究分科会]「第2章 海外 ILL 事例一覧」,『私立大学図書館協議会東地区研究会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p36-45.
- [2004/03/Ta] 田坂憲二「NACSIS Webcat と Webcat PLUS」,『文藝と思想』, no.68, 2004.03, p173-190.
- [2004/03/Ya] 山口直比古「平成 16 年度より開始される ILL 複写等料金相殺サービス(講演会報告)」,『私立大学図書館協議会東地区研究会 相互協力研究分科会報告』, 10, 2004.03, p46-61.
- [2004/04/Ko] 小陳左和子「国立情報学研究所の新たな情報提供サービス展開: Genii (NII 学術コンテンツ・ポータル)」,『薬学図書館』, 49(2) (通号 184), 2004.04, p96-101.
- [2004/04/Su] 末廣恒夫「図書館と著作権: 複写と貸出を中心に」,『情報管理』, 47(1), 2004.04, p1-7.
- [2004/05/Ya] 山中秀夫「西洋古刊本を対象とした総合目録データベースに関する考察: その構築の歴史と手法」,『ピブリア』(天理図書館), No.121, 2004.05, p125-156
- [2004/06/Ha] 濱生快彦「NII の総合目録データベースについて(図書館談話室)」,『関西大学図書館フォーラム』, no.9, 2004.06, p85-88.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「RECON ファイル所蔵データ一括削除」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「平成 16 年度選及入力事業計画」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱いについて」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「NACSIS-ILL 文献複写料金等相殺サービスの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14号, 2004.06.23.
- [2004/06/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「メタデータ・データベースの今後の展開について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 14号, 2004.06.23.
- [2004/06/Wa] 和中幹雄「FRBR とはなにか: その意義と課題」,『現代の図書館』, 42(2) (通号 170), 2004.06, p115-123.
- [2004/08/0g] 荻原寛「ILL 文献複写料金相殺サービスの展開(特集: 大学図書館 2004)」,『図書館雑誌』, 98(8), 2004.08, p511-513. * 国公私を越えた ILL 料金の相殺サービスの概要。
- [2004/08/Su] 杉本若葉, 地原扶由子「電子ジャーナルの資料特性と組織: NACSIS-CAT の課題と展望(2003 年度[私立大学図書館協会]東地区研究部 研究分科会報告大会)」,『私立大学図書館協会会報』(私立大学図書館協会 ISSN:02887002), 通号 122, 2004.08, p129-136
- [2004/09/Ka] 兼宗進「図書館システムとオープンソースの利用(CA1529)」,『カレントアウェアネス』, No.281, 2004.09, p2-3. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/images2/ca/ca281.pdf>>
- [2004/09/Ka] 加藤信哉「電子ジャーナルのコンソーシアム利用が大学図書館の文献デリバリーへ及ぼす影響(CA1530)」,『カレントアウェアネス』, No.281, 2004.09, p3-5. <<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/series/item.php?itemid=14>>
- [2004/09/Ma] 榊添博邦(九州産業大学)「資料組織: 分類・目録を再考する」,『図書館学』(西日本図書館学会), No.85, 2004.09, p53-57. * 司書が「資料組織」から解放されたことの影響。
- [2004/10/Ko] 小島浩之「漢籍と図書館・OPAC(学術リソースレビュー: 学術サイト)」,『漢字文献情報処理研究』(好文出版), No.5, 2004.10, p150-152.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「旧 CAT/ILL サービスの終了について」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトの発足」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「グローバル ILL の新展開: 日韓 ILL/DD 暫定サービスの運用開始」,『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15号, 2004.11.29.
- [2004/11/Ko] 国立情報学研究所コンテンツ課「ILL 用参照ファイルの導入(KERISB, KERISS)」,

- 『NACSIS-CAT/ILL ニュースレター』, 15号, 2004.11.29.
- [2004/12/Ai] 相田満「目録データベースの高次化によるデータマイニングを可能とするために：複数種のオントロジ辞書の利用・接合により検索効率の向上を試みる」, 『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2004 No.17, 2004.12, p151-158. *オントロジの実効性を目録データベースで検証。
- [2004/12/As] 浅倉秀三「日本語 MARC の XML データベースへの変換に関する一実験：JAPAN/MARC と TRCMARC の変換」, 『日本図書館情報学会誌』, Vol.50, No.4, 2004.12, p159-170.
- [2004/12/In] 井上佐知子, 山岡規雄, 上田貴雪, 筑木一郎「デジタル時代のドキュメント・デリバリー・サービス (CA1545)」, 『カレントアウェアネス』, 282, 2004.12.
<<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/images2/ca/ca282.pdf>>
- [2004/12/Mo] 森山光良「富山県内図書館蔵書総合目録事業に関する考察」, 『日本図書館情報学会誌』, Vol.50, No.4, 2004.12, p125-141
- [2004/12/No] Noguchi Setsuko (野口契子), 鈴木祐介「米国における ILL サービスの現状：イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の事例」, 『大学図書館研究』, No.72, 2004.12, p36-40.
- [2004/12/Su] 諏訪部直子 (杏林大学図書館)「「EBM」を書名に含む国内臨床医学書の分析と評価」, 『医学図書館』, 51(4), 2004.12, p363-367. *NACSIS-CAT で対象図書を検索。
- [2004/12/Ta] 高野明彦, 西岡真吾, 丹羽芳樹「連想に基づく情報アクセス技術：汎用連想計算エンジン GETA を用いて (<特集>最新情報検索技術)」, 『情報の科学と技術』, 54(12), 2004.12, p634-639.
- [2004/12/Ue] 上田洋, 村上晴美「関連語提示機能付携帯 OPAC の試作」, 『情報処理学会シンポジウム論文集』, Vol.2004 No.17, 2004.12, p189-194.